



夢を力に 未来をその手に。

Mid-term Plan 2026-2030



公益社団法人群馬県サッカー協会

目次

目次	2
本計画の概要	3
ミッション・ビジョン・バリュー	4
2035年目標・2050年目標	6
環境分析	8
登録者数推移・財務	10
基本戦略	13
中期経営計画達成に向けた施策	15
財務計画	21
5年間のロードマップ	22

本計画の概要

この度、公益社団法人群馬県サッカー協会は、2026年度から2030年度までの5年間を計画期間とする中期経営計画を策定いたしました。

本協会は、群馬県におけるサッカーの普及・発展を目的に、設立以来、多くの関係者の支えのもと活動が続けてまいりました。競技力の向上に加え、育成・普及、生涯スポーツとしてのサッカーの推進など、県内各地域の実情に寄り添いながら取り組んできました。

法人化を経て、組織としての責任や役割が明確になるとともに、安定した事業運営の基盤が整いました。現在では、競技会の開催や強化育成事業、指導者・審判の養成など、サッカーに関わるさまざまな事業を通じて、群馬県全体のサッカー環境の充実を図っています。

本計画は、これまで大切にしてきたミッション・ビジョン・バリューをあらためて見つめ直し、社会環境の変化やスポーツを取り巻く状況を踏まえながら、今後5年間ににおける本協会の方向性と取り組みの柱を整理したものです。

本計画を関係する皆さまと共有し、同じ目標に向かって歩むことで、群馬県サッカーのさらなる発展につなげていきたいと考えています。今後も、地域に根差した活動を大切にしながら、本計画に基づいた事業運営を進めてまいります。

ミッション・ビジョン・バリュー

ミッション

**サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する**

ビジョン

- ・サッカーの普及に努め、すべての県民が親しむ環境を作り上げる。
- ・サッカーの育成・強化に努め、群馬県チーム及び群馬県出身選手・指導者・審判員が国内外で活躍することで、県民に勇気と希望と感動を与える。
- ・他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとすることで、県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- ・人種・性別・国籍・年齢・障害など、様々な多様性を認め、お互いの人権と尊厳を尊重し、サッカーを通じて支え合う社会を目指すとともに、県民にフェアプレーとリスペクト精神を浸透させ、社会に貢献する。

ミッション・ビジョン・バリュー

バリュー

ライフスタイル

生涯を通じて楽しく関わり続ける。

プレイヤーズファースト

世代・レベル・カテゴリーは関係なくプレイヤーを大切にする。

フェア

公平・公正・スポーツマンシップを守る。

チャレンジ

挑戦する気持ちを忘れない。

コミュニティ

地域や文化、人々をつなげ、絆を深める。

リスペクト

仲間・相手・指導者・審判・運営・観客、すべてを大切にする。

2035年目標

1. 群馬県内のサッカーファミリーが総県民の5%となる
2. 群馬県出身選手がJリーグ、WEリーグ等に年間60人以上登録され、日本代表（年代別代表も含む）に年間10人以上が選出される。
3. 群馬県出身指導者・審判員がJリーグ、WEリーグ等に年間10人以上登録される。
4. いずれかのカテゴリーにおいて群馬県チームが、常に全国トップレベルの成績を収める。
5. 各カテゴリーの全国大会、国際大会を誘致・運営する。
6. 群馬県内各地にサッカー専用グラウンドがあり、良いコンディションを確保する。

2050年目標

1. 群馬県内のサッカーファミリーが総県民の10%となる
2. 群馬県出身選手がJリーグ、WEリーグ等に年間70人以上登録され、日本代表（年代別代表も含む）に年間10人以上が選出される。
3. 群馬県出身指導者・審判員がJリーグ、WEリーグ等に年間10人以上登録される。
4. いずれかのカテゴリーにおいて群馬県チームが全国優勝する。
5. 他競技や行政と協力し合い、国際イベントを企画・運営する。
6. 日本でワールドカップが再び開催される際は、群馬のサッカー専用スタジアムで試合を開催する。

環境分析 群馬県とサッカー

【Political（政治的要因）】

- 教員の働き方改革の推進
- コンプライアンス・安全管理体制の強化
- 国スポーツ開催県としての責任と期待
- 部活動地域展開への対応と役割拡大

【Economic（経済的要因）】

- 補助金の依存構造
- 運営コストの上昇
- 地方経済の影響によるスポンサー協賛金の確保難
- 外国人労働者の増加

【Social（社会的要因）】

- 少子高齢化
- 家計負担増による競技継続格差
- 指導者・審判・運営人材の高齢化
- 生涯スポーツ・多世代交流への期待

【Technological（技術的要因）】

- スポーツ界におけるDX推進
- 技術革新（AI等）の活用
- ウェアラブル機器によるコンディション管理
- SNS・動画配信による広報・ブランディング強化

PEST分析とは、外部環境を分析して経営戦略や事業戦略に活かすフレームワークの一つです。企業や組織の「自分ではコントロールできない環境要因」を整理するために使われます。

環境分析

群馬県サッカー協会

【Strengths（強み）】

- Jリーグ（WE等）選手輩出多数
- 高校サッカー人気
- 国スポ開催県としての注目度
- 芝生、人工芝の施設が多い

【Opportunities（機会）】

- 国スポ開催による追い風
- 部活動地域展開の進展
- 女子サッカーの成長
- SNS発信によるファン拡大

【Weaknesses（弱み）】

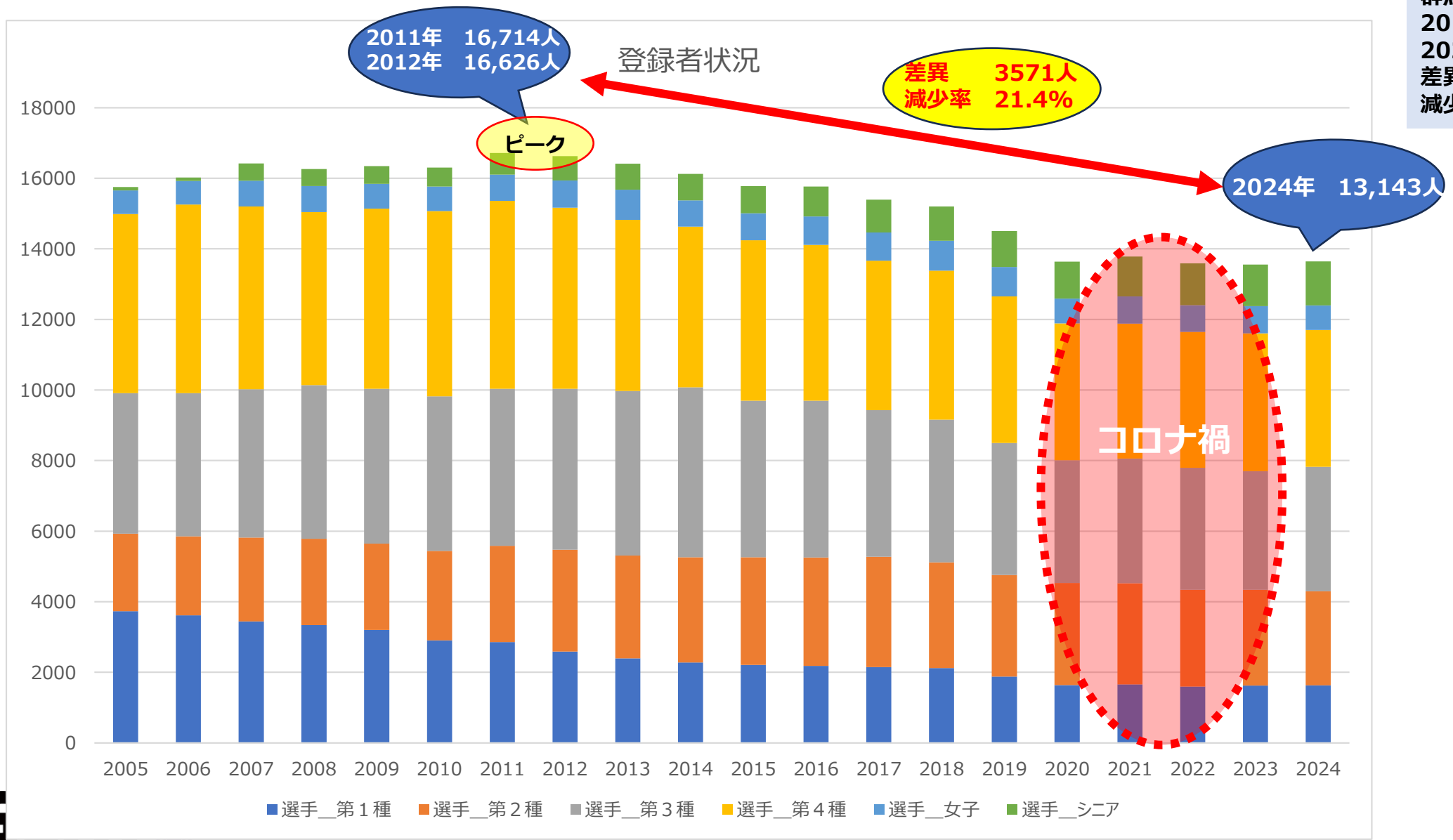
- 女子競技者の受け皿が少ない（中学生年代）
- 審判員の高齢化、なり手不足
- 財源が限定的（登録料・補助金依存）
- ボランティア依存体制

【Threats（脅威）】

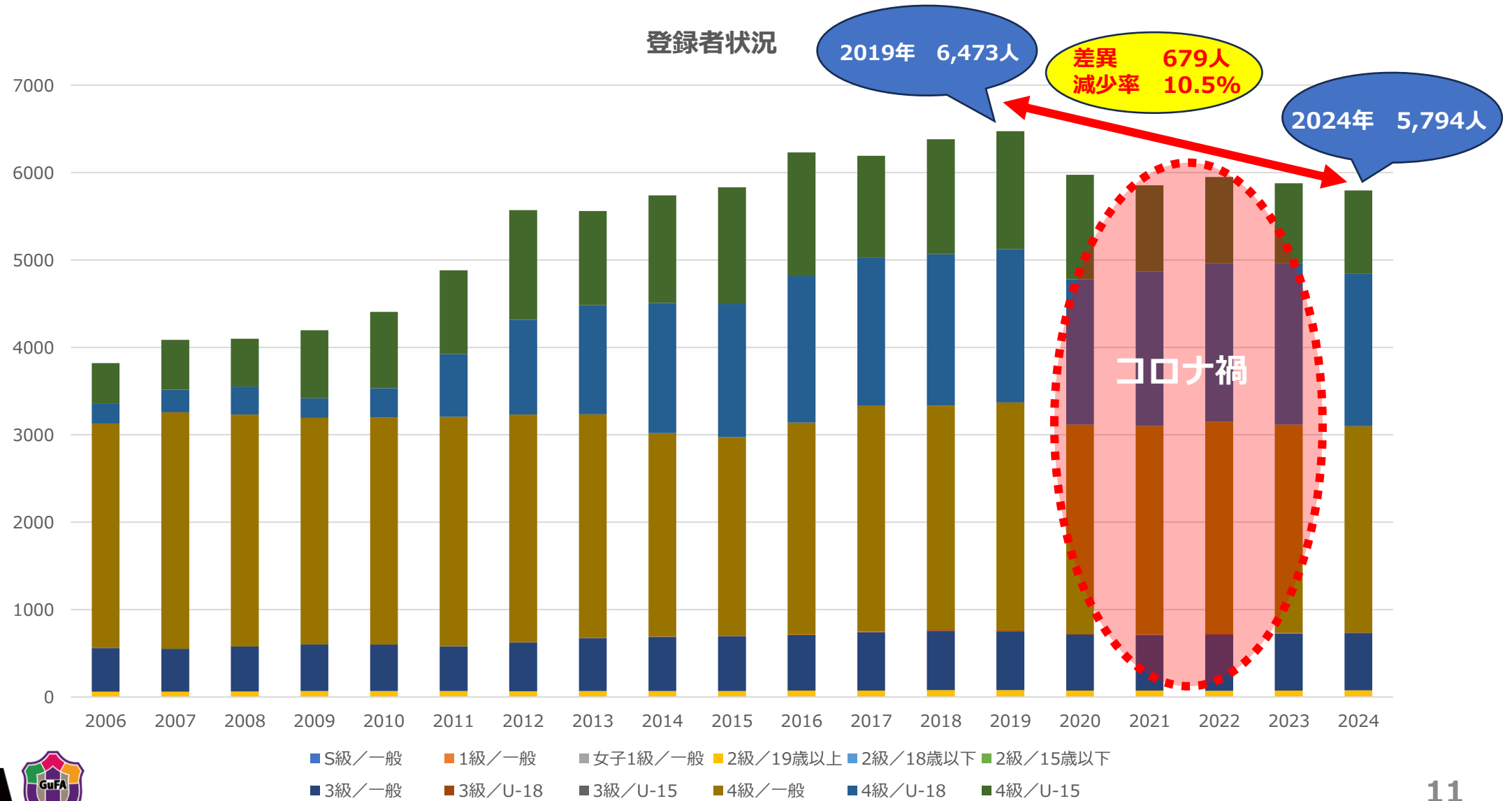
- 少子化の加速
- 他競技・他娯楽との競争
- 物価高騰による財政逼迫
- 気候変動（猛暑・雷雨）による活動制限
- 体育館の利用制限（フットサル環境）

SWOT分析とは、組織や事業の現状を整理し、戦略立案に活かすためのフレームワークです。
内部環境と外部環境の要素を4つに分類して分析します。

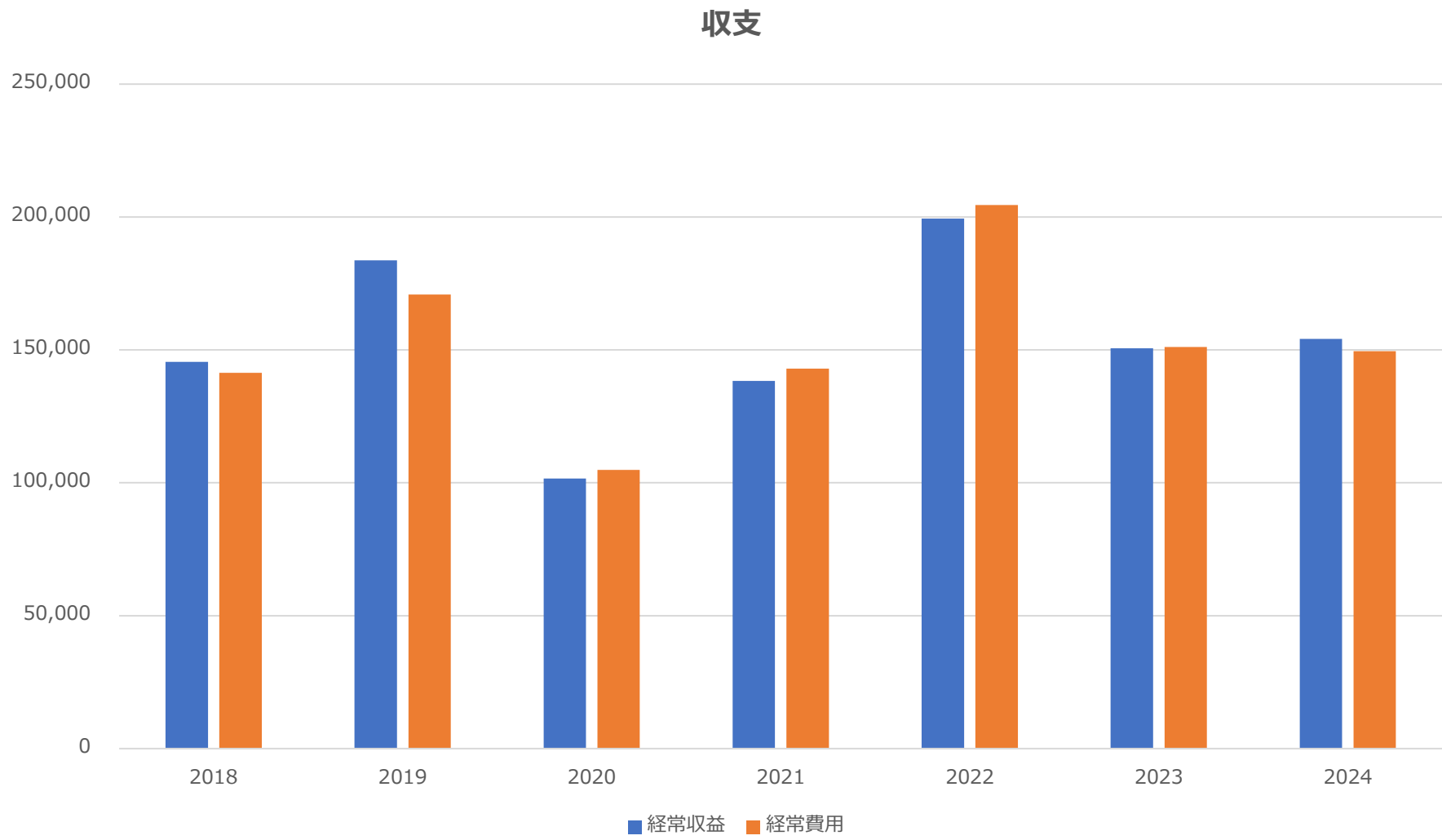
現状分析 サッカー選手登録者状況



現状分析 サッカー審判登録者状況



現状分析 決算状況



基本戦略

継続と進化

少子化や新型コロナウイルス感染症の影響により、選手・審判員の登録者数は減少しています。今後、群馬県サッカー協会では「普及」により一層フォーカスを当て、サッカーを始めやすく、そして続けやすい環境を整えることで、サッカーファミリーの拡大を目指します。また、競技会の在り方についても見直しを進めていきます。

より高いレベルで行う競技性だけでなく、スポーツの原点である“楽しさ”を大切に、参加者が望む大会運営の形を検討することが必要です。

そのうえで、選手・指導者に加え、審判員の養成も急務であると考えています。各カテゴリーでリーグ戦が行われ、毎週末にサッカーが開催される文化が根付いたことは大きな成果です。しかしその一方で、審判員数が増加していないため、一人ひとりの負担が大きくなっている現状があります。この課題を解消し、競技をより高いレベルで成り立たせるためにも、審判員の育成は不可欠です。

さらに、2029年に開催予定の「湯けむり国スポ・全スポぐんま2029」においては、出場する選手はもちろん、指導者・審判員・運営スタッフなど、関わるすべての人々にとって充実した大会となることを目指します。そしてその後のレガシーとして、サッカーやスポーツがより身近で親しみやすい存在となるよう、県内全体で取り組みを進めてまいります。

基本戦略

第103回全国高校サッカー選手権大会
本日の公式入場者数
37037人
ご来場ありがとうございます

継続と進化



フットボール

【普及】

- キッズ・4種
- 女子
- 障がい者
- 審判員養成

【育成・強化】

- 国スポ強化
- 指導者育成

【競技会】

- 安心安全な大会運営



事業（マーケティング）

- パートナー企業の拡大
- プロモーション・広報活動の強化



組織基盤

- 事務局強化（専門性）
- 全体収支均衡の実現
- 法令順守の取り組み
- 社会連携活動への取り組み

中期目標達成に向けた施策 2026-2030



普及

目指す姿



いつでもどこでもサッカーが始められる、続けられる環境を整備している

アクション

- キッズ巡回指導の拡大
 - 年間の実施回数を増やす
 - キッズリーダー養成講習会を実施し、巡回に参加できる仲間を増やす
- 女子U-15年代の活動環境の整備
 - 女子チームの活動支援
 - 各地域で練習会の実施し、U-12年代でサッカーから離れないようにする
- パラスポーツ協会との連携
 - 2029湯けむり全スポ（群馬県開催）を機会に、連携を図る
 - 障がいのある方でも持続的にサッカーが出来る環境を整備する
- 審判員養成
 - ユース審判員養成・育成のための環境づくり（競技会・技術との協調）
 - スキルアップ研修会の充実
（保護者審判から派遣審判員まで、やりたい人がやれる環境を作る）

📈 KPI

キッズ巡回 **+30%** キッズL養成 **+50%**

女子登録者数 **+20%**

パラスポーツ協会連携 **拡大**

4種帯同審判 **向上** 審判登録者数 **+10%**

中期目標達成に向けた施策 2026-2030



育成・強化

目指す姿



群馬県選手が全国大会で活躍している

アクション



選手育成のためのトレセン活動の充実

- 2029ゆけむり国スポ（群馬県開催）で全種別が優勝をするための海外遠征を企画し、選手に刺激を与える
- トレセン活動をより非日常の活動となるようにする



指導者育成

- 指導者養成講習会の実施
- 上級ライセンス取得へのサポート
- セーフガーディングの理解・推進



環境整備

- 安心・安全にサッカーができる環境づくり（暑熱・落雷等の対策）

📈 KPI

2029年 ゆけむり国スポ総合優勝

登録指導者数 **+20%**

学びの提供 **+25%**

芝生の会場整備 **拡大**

中期目標達成に向けた施策 2026-2030



競技会

目指す姿



誰もが安心して参加できるゲーム環境の実現をしている

アクション



ゲーム環境改善

- 過密スケジュールを避けた日程調整、最適な競技会の設定
- 暑熱化・雷雨などの環境変化に対応したリーグ戦・カップ戦運営



サッカーをしたいすべての人に機会を

- 中体連と地域クラブの連携により、U-15年代の選手がより多くの実戦経験を積めるゲーム環境を整備する
- 競技スポーツと生涯スポーツ、それぞれの志向に応じて選択できる多様なゲーム環境を整備する
- 0-40カテゴリーへスムーズに移行できるよう、U-40年代の社会人サッカーのゲーム環境を整備する

KPI

重大事故・熱中症重症化 **0件**

各種別委員会・連盟・地区協会との連携 **向上**

施策実現に向けた基盤整備

2026-2030



事業（マーケティング）

目指す姿



パートナーと価値共創を進め、補助金のみに頼らない事業運営をしている

アクション

- 専任スタッフを配置し、新たなパートナー企業の獲得を推進する
- 現在協働していただいているパートナー企業と、相互理解の促進と強固な関係構築を図る

目指す姿



FAの認知度を高め、ブランド価値が向上している

アクション

- FAの活動を積極的にHP・SNS等で発信し、サッカーファミリーの拡大につなげる

KPI

マーケティング専門人材の登用 **26-28年中**

パートナー企業報告会の実施 **年1回**

ホームページ・SNS発信 **向上**

施策実現に向けた基盤整備

2026-2030



組織基盤

目指す姿



環境の変化に応じて事業を最適化できる組織統制を整備している

アクション



【事務局強化】

- 専門性を有する人材を登用する

【全体収支均衡の実現】

- 単年だけでなく中長期的発展を見据えた事業運営の実行

【法令順守の取り組み】

- 指導者・審判員・スタッフへセーフガーディングワークショップの実施

【社会連携活動への取り組み】

- 人権：セーフガーディングワークショップ、ウェルフェアオフィサー研修会の実施
- 健康：サッカーを始められる場づくりの実現
- 地域：天然芝ピッチの増加協力

KPI

事務局運営 **向上**

セーフガーディングワークショップ **年間6回**

クラブウェルフェアオフィサー **全チーム設置**

天然芝ピッチ支援 **向上**

数値目標一覧 (KPI)

	項目	実績		2030年目標
1	登録選手数	13,351人 うち女子1,095人	2025年12月	12,700人 うち女子1092人+5% (県内人口減少率5.5%としたときの100%)
2	公認ライセンス保有者数	1756人 うち女性96人	2025年12月	2100人 +20% うち女性115人 +20%
3	公認資格保有審判員数	6204人 うち女性445人	2025年12月	6800人 +10% うち女性510人 +15%
4	イベント・フェスティバル	30回	2025年12月	55回 +80%
5	キッズ巡回指導園	延べ213園	2025年12月	延べ300園 +30%
		延べ4,460人		延べ5,800人 +30%
6	パートナー企業収入	300万円	2025年12月	800万円 毎年+100万

財務計画

目指す姿

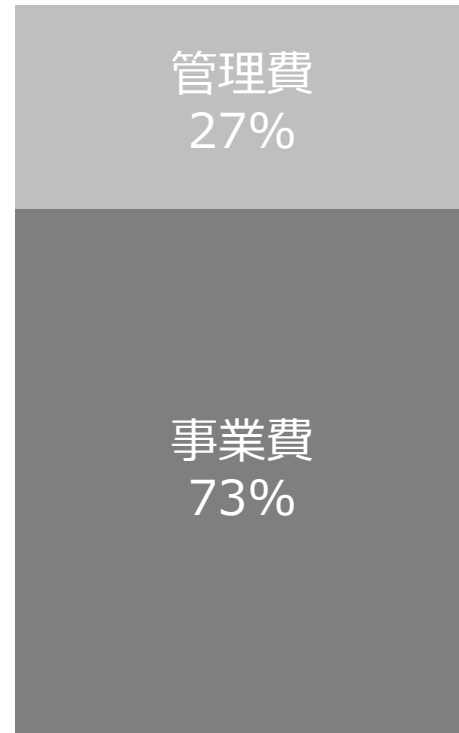
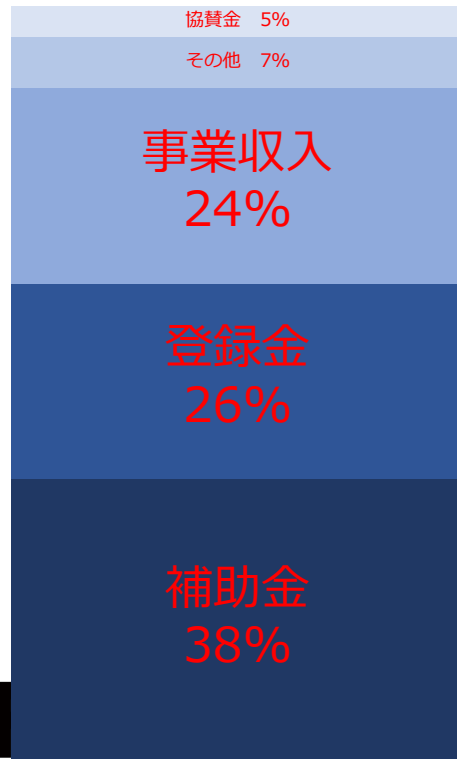


普及事業への継続的な投資とパートナー企業の拡大により、登録者減少局面においても活動規模を維持し、将来にわたり持続可能な財務運営を実現する。

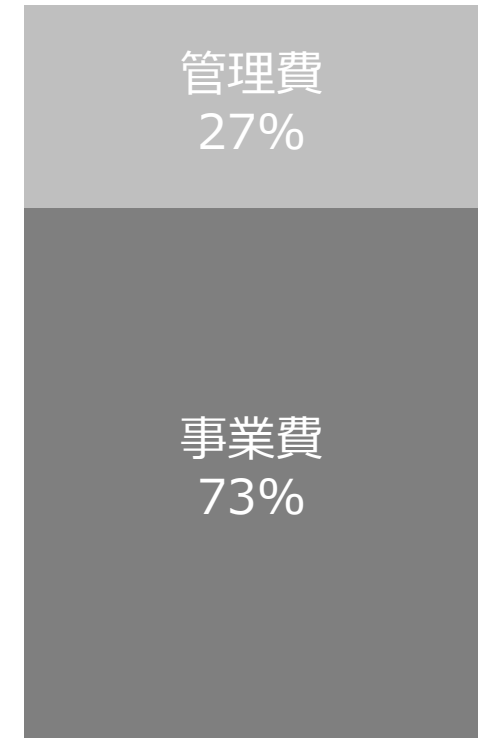
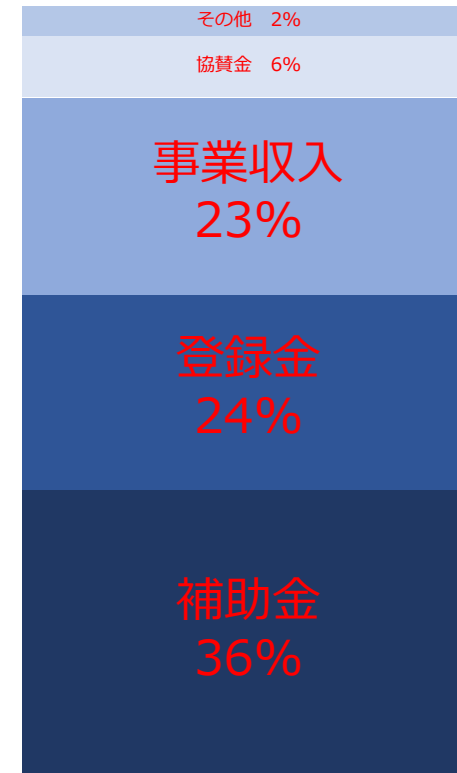
アクション

✖️ 【収入】 新規パートナー企業獲得で財源確保を図る ✖️ 【支出】 新規獲得につなげる普及活動に投資を行う

2024年度決算



2030年度決算（想定）



ロードマップ2030

発展・進化

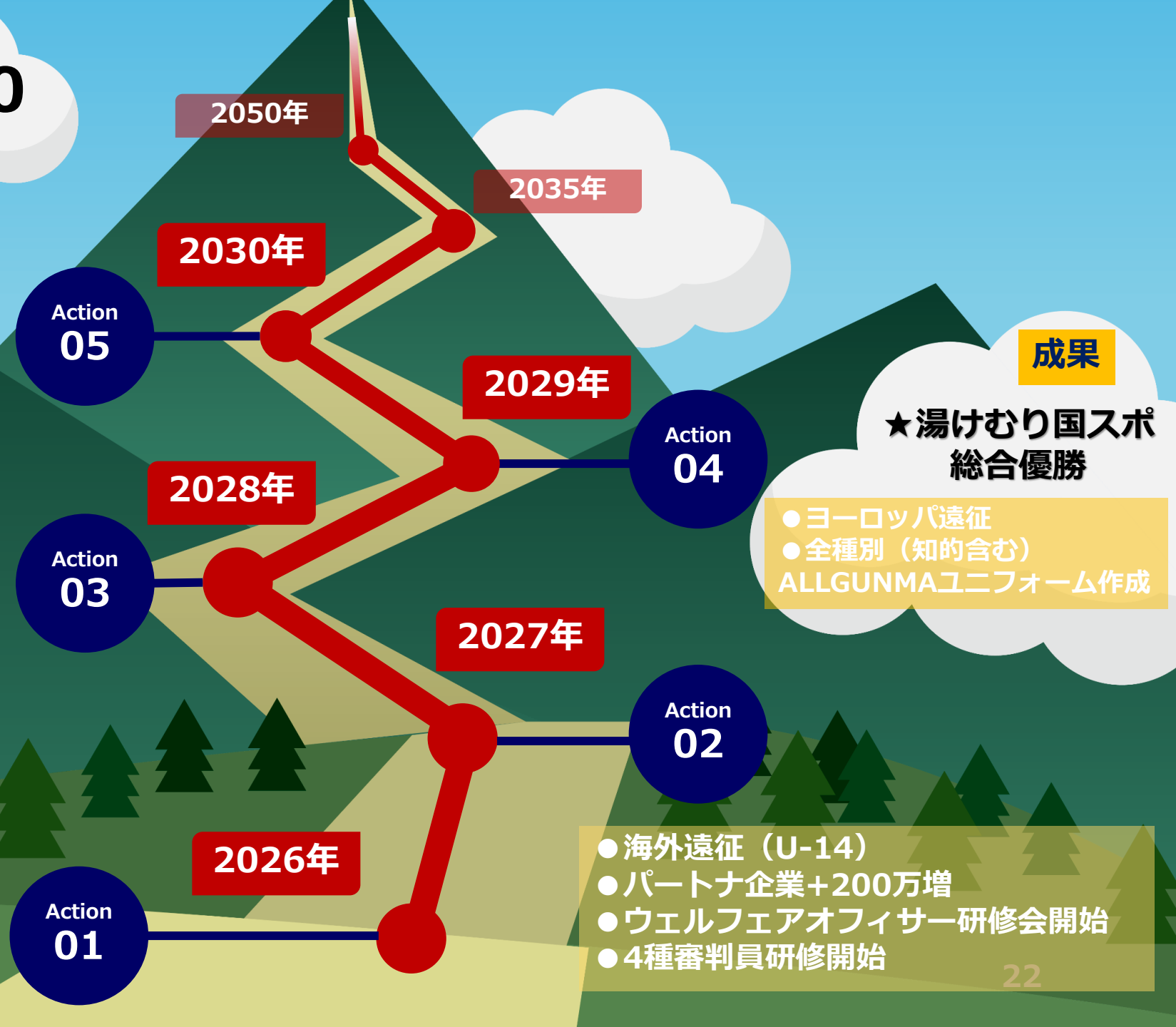
- 登録者数12,700人
- 登録指導者2,100人
- 登録審判員6800人
- キッズ巡回300園、5800人
- イベントフェスティバル55回
- パートナー企業収入800万円

実行・展開

- キッズ巡回+20%
- イベント地域展開20%増
- 女子U-15年代チームSP開始
- 海外遠征（U-15）
- 審判員育成AP継続・展開

継続・出発

- キッズ巡回+10%
- イベント地域展開開始（女子）
- パートナー企業報告会開始
- 障がい者サッカー連盟協働開始
- 海外遠征（U-12）
- 審判育成アクションプラン開始



Thank you

DREAM

夢があるから強くなる



夢を力に 未来をその手に。



公益社団法人群馬県サッカー協会